

会 議 記 録

会議名称	第5回社会教育委員の会議
日 時	令和5年3月29日（水）午後2時04分～午後4時04分
場 所	中棟4階 第2委員会室
出席者	委員 塩練、小澤、荻上、南、檜枝、赤池、天野、笹井 区側 生涯学習担当部長、生涯学習推進課長、管理係長、庶務課計画担当係長、 社会教育推進担当係長（社会教育主事）、 教育連携担当係長（社会教育センター社会教育主事）、 社会教育センター社会教育主事、管理係主査
配付資料	<p><配付資料></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 令和4年度第4回社会教育委員の会議 会議記録（案） 2 社会教育センター大規模改修工事期間延長に伴う対応について 3 杉並区教育ビジョン2022推進計画一部修正について 4 今期検討内容のまとめについて 5 「社会教育士の育成・活用」に関する区関係資料（抜粋） <p><参考資料></p> <ul style="list-style-type: none"> ・科学展示「月をみよう」 ・杉並サイエンスコミュニケーション 7号 ・すぎなみサイエンスフェスタ 令和4年度事業報告書 ・企画展「すぎなみの消防史」 ・青少年委員だより 第80号 ・令和4年度 青少年委員実践集録 ・地域合同クラブ2022年度 吹奏楽ワークショップ実施報告書 ・なみすく2023春号 ・東京の地域教育 No.148 ・みんなの幸せをもとめて ・社教連会報 No.92 ・公民館のしあさってはデザインのしあさって!? ・科学の拠点等の施設名称について ・横浜市社会教育コーナー 社会教育士をキーワードとした養成講座の例 ・鳥取県公民館講座 ・神奈川県社会教育士会のご案内
会議次第	<p>I 報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 会議録について 2 社会教育センター大規模改修工事期間延長に伴う対応について

	<p>3 杉並区教育ビジョン推進計画一部修正について</p> <p>II 協議事項</p> <p>1 今期検討内容のまとめについて</p> <p>2 次回について</p>
(意見要旨)	
<p>○生涯学習担当部長 社会教育士の育成と、社会教育士を活用して学びをどう支援していくかというテーマについて、いろいろなご意見やご協力を賜りたい。</p> <p>○議長 17期杉並区社会教育委員の会議のまとめについては、社会教育士という資格を社会教育の現場でどう導入し、活用していくかというところに着目したい。社会教育士を適切に育成し、活躍してもらうことが大事になっていて、社会教育委員として具体的な方向性を示すことが重要だと思うからである。</p> <p>人と人が関わりあって、議論の中で、刺激し合って、成長していくのが社会教育の基本的な原理だと思っている。社会教育の原理的なところに戻って、みんなに関わり合って、刺激し合って、磨き合って、お互いに成長していくということがとても大事だ。</p> <p>高齢者、子育て中の方、青年たちの居場所の問題がクローズアップされて、社会や、他者と接することで自分を磨く、他者と接することで自分をリカバリーするようところが求められている。</p> <p>教育・学習活動として意味を持つためには、議論が生産的になるように、ファシリテート、利害の対立のコーディネート、プレゼンテーションが大事になってくると思う。社会教育の専門職員が介在してファシリテートするその場面で大事になるのが社会教育士であると思う。そうした社会教育士の活躍の場を具体的に考えておくことが必要ではないか。学びの支援について、社会教育士を支える体制、推進体制、地域の人々の学び合い、支え合いとの関わり、社会教育施設、地域に開かれた学校との関わりが大事になるのではないか。</p> <p>○社会教育推進担当係長 社会教育士は大事だが、資格より、機能、作用、行動パターン、人に関わる部分が大事だと思われる。現実的に、社会教育士的な、あるいは社会教育士のような機能や作用をしている人々が増えていくことが望ましく、結果として、社会教育士の資格を持っている人が増えていくのではないか。</p> <p>○委員 学びはイコール地域で暮らす、生きるということ。学びは学び、地域づくりは地域づくり、学校教育は学校教育、社会教育は社会教育みたいな壁を、横軸の発想で壁を超えるところをまとめの中でも打ち出していけるのではないか。社会教育施設と学校施設の壁を超えるところを、要素として、こだわりとして入れておく。活動、実践活動されている方と社会制度の壁を超えるところが何かつくれるのではないか。</p> <p>○議長 沖縄の公民館の館長が「公民館は人が集まることによって公共性ができる場所だ」ということを言っていた。行政の場合、特に目的の位置づけ、意義、目的を具体化するものが公共だという意識があるが、目的がなく、みんなが集まってくところが公民館の公共性の原点だという話があった。目的を設定してやると考えると壁ができる。公民館は、無目的なところが新しい、ボトムアップの公共性ができるということという話だった。</p> <p>○委員 社会教育士というのは、縦とか横のラインではなくて、いわゆる斜めのラインをどうつくっていくかが大事だと思う。もう一つは、社会教育士の方々が杉並の中でやる活動をジョイントしていくということが大事だと思う。</p>	

- 委員 何ができるのか分からないけれども、何かの役に立ちたい、生きがいを持ちたいという方たちを、社会教育士がつなげ、意識のないモヤモヤした気持ちをすくい取ってもらえるようになるといい。誰に相談したら、自分たちの活動が生きるのかというのが分からなくて、言葉にならない悩みを抱えた、不安を抱えた人たちの救いの場になるような仕組みができるといいと思う。
- 委員 社会教育的な視点を持って、いかに公共を良くしていくかという役割を担う人が区役所内の幾つかのセクションに増えていくという発想を盛り込めたらいいのではないか。これまでの学校は教えることが仕事で長年やってこられたが、社会教育は違う。「みんなのしあわせを創る杉並の教育」というキャッチフレーズを題材に各学校で話し合いをしているが、要は一つの解を導くために誰かが教えるということではなく、話しあう場は学校でも地域でも既に至るところにあり、みな実践している。そのため、営みの見える化は非常に重要。行政からだけでなく、別のかたちで発信していくというのも一つの手立てだと思う。
- 委員 今何が大事なのかということを見ると、これまでの社会というのは閉ざされた強固な結びつきの枠組みがはっきりしていたが、これからはより開かれた社会になる。結びつきが緩やかになって、ボーダーレスを目指す社会に変化していくその移行過程において移行を促進させる作用が、社会教育士というものが入ることによってできる可能性があると思う。社会教育士はその移行を促進するためのツールという考え方があるのではないか。
- 自分が社会教育士を取ったとして、コーディネート力、ファシリテーション能力、プレゼンテーション能力を高めることができる力が自分についたと仮定したときに、自分が最も変化すべき場所はどこかと考えると、多分家庭だと思う。こういったコーディネート能力とかファシリテーション能力とかプレゼンテーション能力があるということは非常に役に立つと思う。こういう力を高めることによって社会全体、杉並の人たちがよくなるということは、多分間違いがない。
- ただ、結果を測る指標をどうするかが、非常に難しくなる。社会教育士の人たちが活躍するフィールドはバラバラで、例えば、廃村とか農村の活動では、SDGsというものをベースにしたときに、いろんな方向性があるから、そのフィールドによってみんな違ったことをしていて、一括で見たときに非常に指標化しづらいことは一側面であると思う。
- ただし、開かれた社会に移行していくときの指標として何があるかと言えば、例えば杉並区に住んでいる人たちが自分たちの生活はウェルビーイングに基づいている、ポジティブである、前向きである、生きやすい、つながりを感じる、そういったものだと思う。そこで高い数値が出せるようになってくれば、そういうものがジワジワ効いてきているということが一つ言えるのではないかと思う。計画の先を見据え、念頭には置いておく必要があると思う。
- 具体的に杉並区が社会教育士というものを進めていこうとした場合にどういう指標の取り方があるかという、例えば社会教育士という資格の勉強を始める前の自分と、取った後の自分の変化というものや、どう捉えるかというのはあると思う。自分がそういう変化をしたことで何を社会に関して働きかけるようにできたか、自分の周囲の人にどういうポジティブ性を提供できたのか、その提供を受けた人がさらにどう変わったのか、波及効果を測ることはとても大事と思う。
- 議長 世の中すごく流動的になってきて、特にコロナのインパクトというのがあって、もう一遍り・デザインするというのは、これから大きく重要になってくるのではないか。そのキーパーソンみたいなのが社会教育士なのではないか。

- 委員 実際やっているものや、こんなことをやろうかなと思っている人がそれを実践できるように関わっていく人が、社会教育士ではないか。日頃から、地域でやっている方たちをつなぐ役をやる仕事が必要。だから、実際には、資格を持たずにやっている人たちをもっと生かしていく役かなという感じがする。
- 生涯学習担当部長 団塊の世代が定年退職を迎えようとする頃、幻の構想で「まちなか駐在員構想」というものがあつた。これは、定年退職した管理職経験のある区民に、自宅で活動の場だとか活動ノウハウの悩み相談に応じてもらい、一定の報酬を支払うというもので、雇用政策的な一面もある構想だつた。社会教育士とは違うが、区長部局から垣根を越えてやっていこうとする構想が当時出てきたことは、一つの示唆に富む面があつたのではないかと思う。社会教育士の活用はこれからというところなので、小さく産んで大きく育てるというように、長い目で見るのが大事だと思っている。
- 委員 「社会教育士の活用」というところになるのか、社会教育士を増やそうというところなのか、そこにつながるまとめになっているのかを意識したほうがいいのか気がなつた。「まちなか駐在員」ではないが、例えばPTAの人がPTAの札を首から提げていると、比較的學校に自由に入出りできる。例えば社会教育士もしくは社会教育支援委員、すぎなみ社会教育支援員みたいなものがあると、まちなかのいろんなところの出入りがしやすく、第三の居場所みたいなのが増やせて交流が生まれやすくなるか、ちょっと仕掛けみたいなのがあつた方がいいのではないかと思つた。活用とか数を増やすみたいなのところにつながることを意識するなら、例えばそんなアイデアもあると入れてみてもいいのではないだろうか。
- 議長 それは認証行為とか登録行為を入れるということか。社会教育士を登録制度、バッジ、身分証明書などを持つという趣旨か。
- 委員 増やしたいとか活用したいという強度が強ければ、認証制度的な意味合いが強くなってもいいのではないか。それがプラスの方が多ければ。ただ、一方で認証制度的なものをつくるとデメリットも多いし、運用が大変みたいなこともあると思う。
- 委員 伝達士というか、共有の場をつくる発想を持った上で活動をする職員、専門職員という、対話とかバズセッションみたいなもの自体が学びであるというようにことを緩やかに共有するという指標が一つあるといいのかなと思つた。
- 議長 社会教育士の資格を持っていること自体が有意義だと、共通認識を持つことも大事だし、それを何か認証することもとても大事と思う。それでもマネタリーにはならないので、社会教育士が地域づくり、福祉、若者支援、防災など、コアの専門性があつて、しかも、ジェネラリストとしてファシリテーションやコーディネートやプレゼンテーションを専門にやりますというふうになると強いと思う。
- 委員 昨年度の出生数が80万を切つて、1億2,000万分の80万ということは、0.6%、杉並区の人口が50万人ぐらいとなると、杉並区で計算すると約3,000人しかいない。現在、公立中学校にいる子どもたちが三千数百人、それは子どもの数からすると、大体7割か7割弱なので、それを単純に計算すると、十数年後の中学校の子ども数は、2,000人を切る。2,000人を切ると、1校平均すると、100人もいない。そういう社会が、もう十数年後に来てしまう。小学校で考えると、7年後には、多分3,000人しかいないことになってしまう。今、多分小学校の1学年は大体6,000人から7,000人ぐらい、これが半分近くになってしまう社会が6年か10年後

ぐらいに来るといったときに、今ある指標はもう役に立たないのではないか。そういう指標で、数字でもって、何人来たからいいとか何%あったからいいとかというふうに考えていくと、逆に自分で自分の首を絞めていくのではないか。

そのときに、満足度ということを考えて、それをどういうふうにして測る在り方を考えていくか。区として、何らかの形で考え、それを捉えた上で、社会の中のいろんな活動が社会教育と意味づけをして、そこの活動者をどう捉えていくか。

例えば、すぎなみ大人塾を修了、卒業した方たちの中で自主的な活動をつくっている。すぎなみマイスターみたいに、活動のノウハウとかを示して、ある種の人材バンクの中に、社会教育士というのを位置づけしていくというのが、これからの在り方として、数をただ増やすのではなく、土壌部分をどうやってならしていくかというのが大事だと思う。

- 委員 すでに保育園、幼稚園で閉園しているところもある。0歳児が今年埋まらない。危機感を持っている保育園の先生方は、今、一生懸命活動をされている。満足度指標はすごく大事なことだと思っているが、それに回答する人たちは多分年配の方だと思う。子どもをこれから産む、あと、数年後に産む年齢になるという人たちは、そこに書かないと思う。そうすると年配の方たちに向けて満足度の高い施策をしてしまい、結局子どもを産まない杉並区になっていってしまうという悪循環に陥る可能性があるのではないか
- 生涯学習推進課長 社会教育士になった人に本当のコーディネート力とかプレゼン能力とかファシリテーション能力を身につけていただくということが、育成の一番重要なところだと思っている。既に活動を実践されていて、活動している方が社会教育士の資格を持つことで、活動がやりやすくなる仕組みをうまくつくっていくことが重要だと思う。そして、リニューアルになった社会教育センターでどのように具体化できるのが重要なところだと思っている。そのよりどころがこのまとめになるとしている。
- 議長 本日もいろいろご意見をいただいて、実りある議論ができたと思う。時間を過ぎたので、本日はこの辺で閉会にする。